

アクサ生命の変額個人年金保険

5年計画

保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)
保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定（世界分散型30DI） 月次運用レポート

2008年12月

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



【利用する投資信託の委託会社】 DIAMアセットマネジメント株式会社（旧：興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社）

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ・人材を結集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

【利用する投資信託の委託会社商号変更のお知らせ】

2008年1月1日より、利用する投資信託の委託会社であります「興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社」が「DIAMアセットマネジメント株式会社」に商号変更いたしました。商号変更に伴う投資信託の名称・運用方針・運用体制などに変更はございません。当該日以後「商品パンフレット」「特別勘定のしおり」などに記載の同社名につきましては上記のようにお読替えいただきますようお願い申し上げます。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期型)/(定期型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。
- ・特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期型)/(定期型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要、注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
特別勘定の月次運用レポート（2008年12月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページのコメントについては、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2008年12月]

【国内株式市場】

12月の国内株式相場は、上昇しました。

月初は、米国の景気後退や自動車ビッグスリー再建に対する懸念から下落するも、オバマ次期政権による景気刺激策への期待や、米国政府によるビッグスリー支援の表明等を受けて、反発しました。中旬には米国で大幅な利下げが実施されたこともあり、円高が更に進んだことで揉み合いとなりました。その後、海外のクリスマス休暇や年末を控えて市場は閑散とし、またトヨタ自動車の2009年3月期の営業損益が赤字になるとの見通しの発表や、日米マクロ指標の更なる悪化等の悪材料も続きましたが、1月20日に誕生するオバマ次期政権による景気対策等への期待が下支えとなり年末にかけて株価は上昇しました。

【外国株式市場】

12月の外国株式市場は、まちまちの推移となりましたが、米ドルに対して円が大きく上昇したこと等から円換算ベースのリターンはマイナスとなりました。

世界各国の中央銀行が大幅な利下げによる金融緩和を行ったことが株式市場の下支え要因となりました。米国株式市場は、発表された経済指標が一層の悪化を示したことや、自動車メーカーの救済法案の協議が議会で難航していることなどが嫌気され、月初は軟調な展開となりました。しかし、中旬に行われた米連邦公開市場委員会(FOMC)において、事前予想を上回る大幅な利下げが行われたことを受け、反発しました。欧州株式市場は、英国やドイツが上昇した一方、フランスやイタリアが下落するなど、国によってまちまちの動きとなりました。アジア株式市場は上昇しました。中国が積極的な金融緩和と景気刺激策を発表したことが好感されました。

【国内債券市場】

12月の長期金利(10年国債利回り)は、中旬以降にかけて低下基調となりました。

中旬までは1.3%台後半を中心とした狭いレンジで推移しましたが、15日に発表された日銀短観で、予想以上の国内景況感の急速な落ち込みが確認されたことに加え、翌16日に米連邦準備(制度)理事会(FRB)が大幅な利下げを実施したことや、長期債の買い切りによる量的緩和政策の導入が示唆され、米国の長期金利が急低下したこと等を背景に、国内の長期金利も低下基調に転じました。更に19日に実施された日銀の金融政策決定会合では、政策金利の誘導目標が引き下げられた他、長期国債買い切りオペレーションの金額増額や、企業が発行するCPの買い切り等、思い切った金融緩和策が決定されたことを材料に長期金利は一段と低下する展開となり、2005年6月の水準を下回って月末を迎えました。

【外国債券市場】

12月は、ほぼすべての主要国で金融政策が大幅に緩和されました。

米国では、利下げの結果、実質的にゼロ金利政策が導入されることとなりました。加えて、主要国では積極的な財政政策が議論されており、各国は景気のでこ入れに懸命な状況です。世界景気が予想以上に急速に悪化している一方で、原油価格は大幅に下落しておりデフレ懸念が台頭していることから、このような積極的な政策が導入されることとなりました。これらの政策を反映して、株式市場は落ち着きを取り戻していますが、ヘッジファンドなどからの解約売り圧力が引き続き大きく、特に社債市場では目立った改善は見られませんでした。国債市場では、景気の悪化を受けて、世界的に利回りが大幅に低下(価格は上昇)しました。

【外国為替市場】

為替市場では、先進国の中ではポンドが最弱通貨となりました。

英国では不動産市場の予想以上の悪化に伴い景況感も悪化し、政策金利がゼロ近辺まで引き下げられるとの思惑からポンドが下落しました。また、米国でも実質的なゼロ金利政策が導入されたことから、米ドルは特にユーロに対して下落しました。米ドル/円相場は前月末の1ドル=95円台から91円台に下落しましたが、ユーロ/円相場は1ユーロ=123円台から127円台に上昇しました。ポンド/円相場は1ポンド=147円台から131円台へ大幅に下落しました。

【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
特別勘定の月次運用レポート(2008年12月)

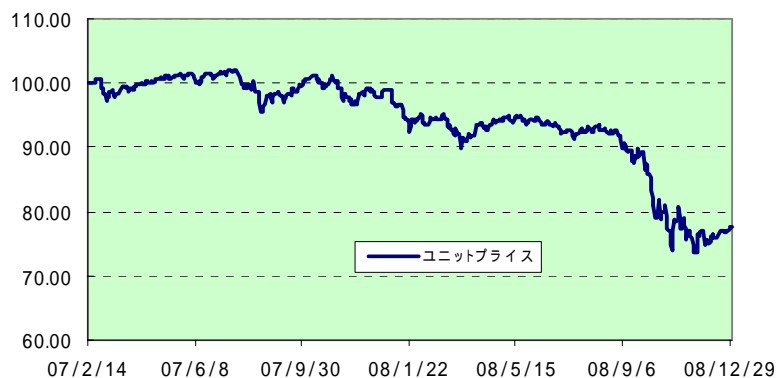
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2008年12月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型30DI	当ファンドは、日本および世界の株式、債券などへ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。 基本資産配分比率は下記の通りとなります。当ファンドにおいて、外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。 国内株式：10% 外国株式：20% 国内債券：30% 外国債券(為替ヘッジなし)：25% 外国債券(為替ヘッジあり)：15% リバランスは、1ヵ月毎(月末時点)に基本資産配分比率に戻すことを原則とします。当ファンドの主なリスクとして、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスクなどがあります。
利用する投資信託	
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定)	

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定の ユニットプライス		騰落率(%)	
2008年12月末	77.49	過去1ヶ月	0.65
2008年11月末	77.00	過去3ヶ月	10.29
2008年10月末	78.34	過去6ヶ月	16.60
2008年9月末	86.38	過去1年	21.58
2008年8月末	92.71	過去3年	-
2008年7月末	93.16	設定来	22.50

・世界分散型30DIの特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月13日)を100.00として計算しております。
 ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型30DI	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	14,636,208	98.8
現預金・コールローン	171,895	1.2
その他	-	-
合計	14,808,104	100.0

・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
 ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
 TEL: 0120 375 193
 アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

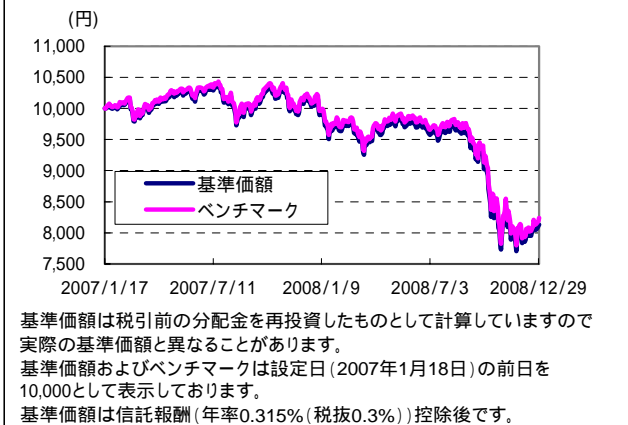
保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
 特別勘定の月次運用レポート（2008年12月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA（適格機関投資家限定）の運用状況 [2008年12月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

基準価額の推移（税引前分配金再投資）



騰落率（税引前分配金再投資）

	1か月 (2008/11/28)	3か月 (2008/09/30)	6か月 (2008/06/30)	1年 (2007/12/28)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	0.86%	-9.84%	-15.75%	-19.89%	-18.67%
ベンチマーク	1.25%	-9.75%	-15.29%	-19.21%	-17.56%
差	-0.40%	-0.10%	-0.46%	-0.68%	-1.11%

騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。

分配金情報（税引前）

分配金情報（税引前）	分配金は1万円当たり
第1期（2007.06.22） 分配金	0 円
第2期（2008.06.23） 分配金	0 円
累計分配金	0 円

分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

ファンドの特色

主な投資対象 ……	主として国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。
投資方針 ……	マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
ベンチマーク ……	以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。

各資産のベンチマーク

【国内株式】	東証株価指数（TOPIX、配当込み）
【国内債券】	NOMURA - BPI総合
【外国株式】	MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み）
【外国債券（為替ヘッジなし）】	シティグループ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
【外国債券（為替ヘッジあり）】	シティグループ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

投資信託は
 1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。


当月末基準価額・純資産総額

基準価額	8,133 円
純資産総額	24,270 百万円
設定日	2007年1月18日
決算日	原則 6月 22日
信託期間	無期限

ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本資産配分比率	差
国内株式	10.2%	10.0%	0.2%
国内債券	29.8%	30.0%	-0.2%
外国株式	19.8%	20.0%	-0.2%
外国債券	38.5%	40.0%	-1.5%
現金等	1.8%	0.0%	1.8%
合計	100.0%	100.0%	-

計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント 

【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）
 株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
 TEL : 0120 375 193
 アクサ生命へメール http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の月次運用レポート（2008年12月）

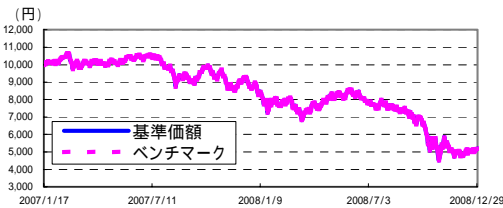
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2008年12月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド

比率は組入株式時価総額比



基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX、配当込み)です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 1705銘柄)

No	銘柄	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.40
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	2.88
3	日本電信電話	情報・通信業	1.94
4	東京電力	電気・ガス業	1.72
5	任天堂	その他製品	1.62
6	武田薬品	医薬品	1.61
7	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.57
8	本田技研	輸送用機器	1.49
9	キヤノン	電気機器	1.46
10	三井住友フィナンシャルG	銀行業	1.43

騰落率

	1ヵ月 (2008/11/28)	3ヵ月 (2008/09/30)	6ヵ月 (2008/06/30)	1年 (2007/12/28)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	3.05%	-20.89%	-34.32%	-40.62%	-47.98%
ベンチマーク	3.03%	-20.89%	-34.30%	-40.62%	-48.01%
差	0.02%	0.01%	-0.02%	-0.01%	0.02%

純資産総額 163,488 百万円

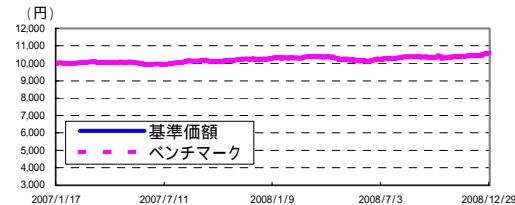
設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

組入上位10業種

	業種名	当ファンド	ベンチマーク	差
1	電気機器	11.48	11.48	0.00
2	銀行業	10.63	10.63	0.00
3	輸送用機器	7.35	7.35	0.00
4	電気・ガス業	7.03	7.03	0.00
5	情報・通信業	7.01	7.01	0.00
6	化学	5.40	5.40	0.01
7	医薬品	5.31	5.31	0.00
8	陸運業	4.75	4.75	0.00
9	小売業	4.31	4.32	0.00
10	機械	3.95	3.95	0.00

国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

比率は組入債券時価総額比



基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 501銘柄)

No	銘柄	比率(%)
1	5 2 回 利付国庫債券(5年)	2.20
2	4 9 回 利付国庫債券(5年)	2.15
3	2 9 3 回 利付国庫債券(10年)	2.13
4	5 7 回 利付国庫債券(5年)	2.10
5	6 0 回 利付国庫債券(5年)	1.93
6	2 9 6 回 利付国庫債券(10年)	1.90
7	4 4 回 利付国庫債券(5年)	1.90
8	7 0 回 利付国庫債券(5年)	1.66
9	4 7 回 利付国庫債券(5年)	1.65
10	6 6 回 利付国庫債券(5年)	1.59

セクター別比率

	組入比率	ベンチマーク	差
国債	75.60%	73.94%	1.65%
地方債	6.15%	6.18%	-0.03%
金融債	2.20%	2.27%	-0.08%
政保債	5.55%	5.58%	-0.03%
社債	9.54%	9.69%	-0.15%
円建外債	0.23%	0.87%	-0.64%
MBS	0.74%	1.30%	-0.56%
ABS	0.00%	0.16%	-0.16%
合計	100.00%	100.00%	-

騰落率

	1ヵ月 (2008/11/28)	3ヵ月 (2008/09/30)	6ヵ月 (2008/06/30)	1年 (2007/12/28)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	1.68%	2.46%	3.43%	3.49%	6.12%
ベンチマーク	1.72%	2.45%	3.36%	3.40%	6.07%
差	-0.04%	0.00%	0.07%	0.09%	0.05%

純資産総額 244,050 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。NOMURA-BPI総合は野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村證券株式会社の知的財産です。

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利利回り	0.94%	0.98%	-0.05%
平均クーポン	1.47%	1.59%	-0.13%
平均残存期間	7.20	6.96	0.25
修正デュレーション	6.40	6.29	0.11

ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価値にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外資建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいづれもありません。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

投資信託は

- 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいづれもありません。
- 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命保険株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の月次運用レポート（2008年12月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2008年12月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 1330銘柄)

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	2.83
2	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品	1.24
3	AT&T INC	アメリカ	各種電気通信サービス	1.14
4	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	コングロマリット	1.14
5	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品	1.14
6	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	1.08
7	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品	1.04
8	CHEVRON CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.03
9	BP PLC	イギリス	石油・ガス・消耗燃料	0.98
10	WAL-MART STORES INC	アメリカ	食品・生活必需品小売り	0.91

株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

比率は組入株式時価総額比

騰落率

	1か月 (2008/11/28)	3か月 (2008/09/30)	6か月 (2008/06/30)	1年 (2007/12/28)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	-4.07%	-32.59%	-45.45%	-54.99%	-53.00%
ベンチマーク	-3.66%	-32.38%	-45.11%	-54.57%	-52.47%
差	-0.42%	-0.21%	-0.33%	-0.42%	-0.53%

純資産総額 181,274 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。
MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

組入上位10カ国

国名	比率
1 アメリカ	54.20%
2 イギリス	10.39%
3 フランス	5.62%
4 スイス	4.80%
5 ドイツ	4.67%
6 カナダ	4.45%
7 オーストラリア	3.07%
8 スペイン	2.45%
9 イタリア	1.94%
10 オランダ	1.32%

組入上位10業種

業種名	比率
1 エネルギー	13.05%
2 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.81%
3 銀行	7.41%
4 資本財	7.32%
5 食品・飲料・タバコ	6.68%
6 素材	5.64%
7 公益事業	5.46%
8 電気通信サービス	5.38%
9 保険	4.64%
10 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.60%

外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 331銘柄)

No	銘柄	通貨	組入比率(%)	残存年数
1	US T N/B 5.75 08/15/10	米ドル	1.93	1.625
2	US T N/B 3.875 05/15/10	米ドル	1.87	1.375
3	US T N/B 6.5 02/15/10	米ドル	1.74	1.125
4	US T N/B 4.5 11/15/10	米ドル	1.37	1.875
5	US T N/B 4.0 11/15/12	米ドル	1.33	3.875
6	US T N/B 4.875 04/30/11	米ドル	1.30	2.333
7	DEUTSCHLAND 5.25 07/04/10	ユーロ	0.88	1.511
8	ITALY BTFS 5.0 02/01/12	ユーロ	0.87	2.986
9	ITALY BTFS 5.0 02/01/12	ユーロ	0.87	3.086
10	BUNDESOBL 3.25 04/09/10	ユーロ	0.85	1.275

通貨別比率

通貨	比率
ユーロ	54.19%
米ドル	31.45%
イギリス・ポンド	8.31%
カナダ・ドル	2.33%
ポーランド・ズロチ	0.91%
デンマーク・クローネ	0.85%
スウェーデン・クローネ	0.73%
マレーシア・リンギット	0.53%
シンガポール・ドル	0.43%
ノルウェー・クローネ	0.27%
合計	100.00%

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利回り	2.61%	2.68%	-0.07%
平均クーポン	4.73%	4.49%	0.24%
平均残存期間	8.54	8.40	0.14
修正デュレーション	6.11	6.22	-0.11

ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。
「複利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。
「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

比率は組入債券時価総額比

騰落率

	1か月 (2008/11/28)	3か月 (2008/09/30)	6か月 (2008/06/30)	1年 (2007/12/28)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	2.13%	-9.62%	-14.85%	-15.86%	-10.62%
ベンチマーク	3.13%	-9.17%	-13.86%	-14.91%	-9.78%
差	-1.01%	-0.44%	-0.98%	-0.95%	-0.85%

純資産総額 316,891 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。
シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・リンクが開発した債券インデックスです。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。
当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
投資信託は
1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

- ！ ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は、契約初期費用・保険契約管理費・運用関係費の合計金額となります。
 なお、年金種類の変更により一般勘定年金を選択された場合には、年金管理費がかかります。

特別勘定繰入前に控除される費用

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用 ご契約の締結などに必要な費用	一時払保険料に対して 5% (例)一時払保険料1,000万円の場合、 50万円	一時払保険料を特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

据置期間中に控除される費用

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費 特別勘定年金受取累計金額（既払年金累計金額）と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1 特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約87円	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用（特別勘定年金受取期間中）

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費 特別勘定年金受取累計金額（既払年金累計金額）と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1 特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約87円	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用（年金の種類の変更により一般勘定年金を選択した場合）

「年金払特約(06)」により年金をお受け取りいただく場合を含みます。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費*2 年金のお支払いや管理などに必要な費用	年金額に対して 1.0% (例)年金額が100万円の場合、 1万円	年金受取日に、責任準備金から控除します。

- *1 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。なお、運用関係費は運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。
- *2 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他の留意事項について】

受取総額保証金額（定期型）

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間（5年～17年）と特別勘定年金受取期間（3年～15年）の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>